

おむすび

やまがたの仕事と芸工大生をむすぶ

第一号

先輩の会社を訪ねて「山形新聞社」へ。



創刊140周年を迎える山形新聞
新しい情報を発信し続ける現場に、
先輩たちを訪ねました。

山形新聞は東北芸術工科大学（以下、芸工大）で企画しているイベントや活動を取材し掲載していただいております。いつも近くで見守って応援してもらっている気がします。今回は立場が逆転し、プロへの取材に緊張しながらも、芸工大と山形の企業を結ぶという本誌のコンセプトにぴったりのお話しを聞くことができました。



今日の
取材班
レポーター
小笠原裕一
(企画構想学科4年)

山形新聞社
〒990-8550 山形県山形市旅籠町2-5-12 山形メディアタワー
TEL: 023-622-5271(代表) URL: <http://yamagata-np.jp>

OG

整理記者

中原三奈さん

(2004年度 未来デザイン学系情報計画コース卒業)

芸工大から整理記者という仕事へ

幼いころから本を読むことが好きで、将来は文字や言葉に関わる仕事がしたいという夢があった中原さん。芸工大の未来デザイン学系情報計画コース(企画構想学科の前身)に入学し、卒業後はその夢を山形新聞社の整理記者という仕事で実現しています。そもそも整理記者とは…?

「新聞のどこにどのような記事を書けるか判断し、見出しやレイアウトを考え、紙面に組んで新聞を形にしていくのが仕事です」。やりがいは何かと尋ねると「当たり前前のことですが、世界が動いているのを感じます。昼夜を問わず、事件や事故はあらゆる場所で起きています。さまざまなニュース



が締め切りギリギリに飛び込んでくることもあり、ほぼ出る上がついていたものを壊して、新たに組み替えるという時がよくあります。常に時間との闘いですが、無事完成した時は達成感を感じます」。在学中は「やまがた宝さがし」

という学科のプロジェクトに関わっていた中原さん。県民に「これが山形の宝だ」と思うものをエピソードも含めてインタビューし、いろいろなメディアや展覧会で紹介しながら山形をどうデザインするかを考えた経験が、現在の仕事に結びついているのだとか。「プロジェクトを通じて、人の温かさなど地域の魅力に改めて触られたと同時に、過疎化などの問題も見えてきました。そういった中で、いつしか自分も山形を支える一員になりたい、生まれ育った山形のために働きたいと思うようになっていました」。

いろいろな人や企業と関わった4年間

「大学は自由な雰囲気、あまり垣根がない。不真面目そうに見えるも、素晴らしい作品を作ったり、豊かな発想を持っていたり。いろいろな人がそれぞれの個性を出しながら、一つの料理のように社会を作り、生きているんだということを実感できた場所でした。その経験は社会に出て、多くの方たちと接する中でとても役立っています。演習では企業と密に関わってブランディングをする機会にも恵まれたそうです。「新しい何かを生み出すにしても、その背景にある社員の方の企業への思いや、愛情を理解しないとけないことを学びました。こうした機会があるのも芸工大の魅力であり特長だと思います」。最後に、先輩へメッセージをいただきました。「将来を考えるとき、新聞社での仕事も視野に入れてみてください。紙面を広げれば、社会情勢に政治や文化、スポーツといったあらゆる情報を毎日、一度に知ることができる。新聞を世の中に発行していくことも、ものづくりの一つだと思っています」。



デザイナー

伊藤 大さん

(2001年度情報デザイン学科映像コース卒業)

学級新聞を作るのが好きだった少年

中学生の頃から芸工大に憧れていた伊藤さんは、情報デザイン学科CGコース(映像学科の前身)に入学。卒業後、山形新聞社の広告局CGデザイン室でデザイナーとして活躍しています。

「中学時代に、学級新聞づくりを通して、デザインに興味を持ち始めました。大学入学後、若者に新聞を読んでもらうためのポスターコンペに応募し、最優秀賞をいただきました。それが新聞社で働くことを意識したきっかけですね」。新聞社に入社する流れは昔から決まっていた運命のように感じます。

仕事内容は毎日掲載される大きささまざまな新聞広告の制作。ディレクションからデザインまで、一連の作業を一人でこなしています。キヤッチコピーも考えるし、時には撮影まで担当することもあるのだとか!「お客様が持っているイメージを理解して具現化していきます。自分の提案した原稿が採用になった時が一番嬉しいですね!」。山形で仕事をする魅力を聞いてみると、「ひとりのデザイナーがお客様と直接話し、最初から最後まで一貫して制作に携われるのは、首都圏ではなかなかできないことだと思います」ということでした。昨年手がけた仕事で思い出深いのがモンテディオ山形の新聞広告。

ホーム開幕戦当日の新聞を選手の写真で包んでしまうという斬新な企画です。「反響も大きくてSNSなどでも話題にしていたいただきました。今季はさらにインパクトのあるものを作りたいです」。

教授や他学科の友人からの刺激

大学で得た財産は、第一線で活躍している教授陣に作品を講評してもらえたこと、そして友人の存在だそうです。「デザインのサークルでTシャツやポスターを作って学祭で販売していました。他学科の先輩との交流は、刺激や勉強になりましたし、デザインスキルも高めることができました」。様々なジャンルの学生がいて、積極的に関わり合いながらものづくりが行われている芸工大は、社会の理想形なのかもしれません。

最後に、「卒業制作展を見ると、年々レベルが上がっていて、うらやましいくらいです。また、芸工大は地域との連携した活動が魅力なので、もっといろいろな企業とのコラボレーションを実現して欲しいですね」と、卒業生の目線で話してくださいました。



社長

代表取締役社長

寒河江浩二

芸工大と地域の関わり

「芸工大は、地域に溶け込みながら住民と一緒に活動し、地域活性化や産業振興に関わっているという記事を紙面でもよく見かけます。肘折温泉の『ひじおりの灯(※)』も長く続けてこられて、温泉街も活性化してきたように感じます」。そう話してくださいるのは、山形新聞社の寒河江社長。新聞を通して常に地域を見つめていくからこそ、言葉のひとつひとつに重みがあります。

「芸術大学では全国でもトップレベルだと思います。さまざまな分野でアイデアを出し合い、発展させながら山形をさらに活性化していきたいです」。



現在、山形新聞社には多数の卒業生が勤務しています。「それぞれの力を活かしながら活躍してくれています。例えば整理記者はニュースバリューを判断し、見出しをつけてレイアウトすることが仕事です。うまく組み合わせ構成するセンスが必要です」

ので、芸術大学で学んできたことがよく活かされていると思います。各分野の仕事で必要とされることに応えられる力が芸工大生の特徴なのでしょね」。

新聞を読む芸術大学へ

社長には芸工大生に伝えたい思いがありました。それは、「新聞を読んでもらいたい」ということ。新聞はランチと同じだといいます。「毎日栄養の計算されているランチを食べていれば病気もしない。新聞も総合的にバランスがとれた食事と同じです。紙面の中にいろいろな記事が散りばめられていて、社会の動きを知り、社会人として最低限の情報を得ることができると」。

そしてさらに大事なことを教えてくださいました。「新聞を読むと想像力や読解力が高まる」。

記事で述べられていることに対して、自分はどう思うのかを考えることで思考が刺激されるといいます。これは芸術やデザインの分野でも、とても大切なことだと感じました。

「社是が4つあります。(社会正義の実現) (言論即実践) (地域密着) (地域貢献)。特に地域密着と地域貢献を地方紙としてこれからも大切にしていきたいです。今年が創刊140周年になりますが、地域に愛され必要とされ続けることを目標としています」。

芸工大生も地域に必要な創作活動を行っていきたいと思います。新聞を読み、深みのある創作活動を行っていききたいと思っています。

教員

企画・構想学科准教授

片岡英彦

芸工大は普通の芸大とは少し違います

芸大と聞くと「絵を描く」、「モノを創る」というイメージがありますが、芸工大では単に「アート」&「デザイン」だけではなく、「社会に貢献できる」という視点も取り入れています。例えば企画構想学科は、「コトづくり」「幸せデザイン」といった日本で唯一の「企画」を実践的に学ぶ学科です。マーケティングやブランディング、商品開発、イベントの企画運営、PR等、企業との連携を通じて、社会に出て役に立つ実践的な学びを行っています。

また、芸工大は「普通であることを嫌がる」学生が多く、素直でありながらも、人に流されることがありません。生まれも育ちも違う仲間と出会い、お互いを知っていく中で、互いの「個性」を知り、尊重しつつ、自らの「個性」を社会に役立たせる方法を思索し続けています。効率性や機能性ばかりが重視される時代を経て、次なる「幸せのカギ」が自分たちの手にあることを知っているかのようにです。

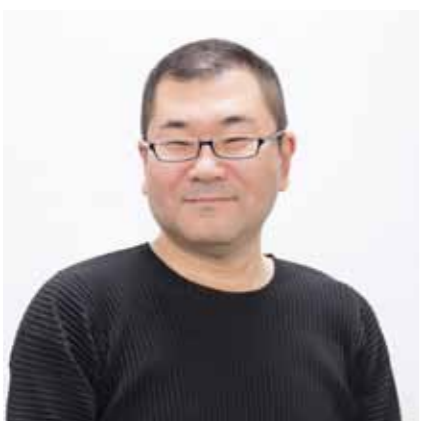
芸工大生を地域(山形)でどう活かす?

地域には、都心のような利便性はありません。しかし、都心には地域の魅力がない。では地域の魅力とは? それを一人一人が自らの頭

で考え、最大限引き出し、より多くの人に伝えていく。そして社会全体をより良い形へと「デザイン」していく。こうした若い力が今必要とされています。

社会を総合的に「デザイン」する力を育む芸工大の学生は、間違いなくこれからの東北を牽引していく力へとなっていくでしょう。地域活性、過疎化解消といった難題に対して、共にこの地で学んだ若者たちならではの新たな視点とチャレンジが、様々な課題を解決していく起爆剤になるはずですよ。

大量生産・大量消費型の社会では、社員の個性よりも「均一性」が重視されてきました。「正解は何か?」を自ら考えることよりも、「これまで成功してきた方法」を忠実に踏襲することで社会全体の成長が可能でした。しかし、今日では「解答のない解」を企業自ら求めなくては生き残れません。「人とは違う」「その人ならではの」他人にマネできない」といった芸工大生ならではの独自性を、長期的に見守りつつ、自社の「成長と変化」のための重要な「スパイス」(刺激)として芸工大生、卒業生を活用していただければ幸いです。地域社会の新しい活力となり、地域経済を担っていく人材(財)を、これから輩出して参ります。



産学連携

「日本酒ブランディング(天弓)」

東の麓酒造有限会社(南陽市)と企画構
想学科、グラフィックデザイン学科の学生
チームで日本酒の共同開発を行い、新ブラ
ンド『天弓』が誕生。コンセプトからネーミン
グ、ラベルデザインまでトータルでプロデュ
ースしています。



レポーター
小笠原裕一
(企画構想学科4年)

「山形のことや芸工大のことを聞けるチャンスだ!」と取材前日まで楽しみにしていました。そして当日、山形新聞社の雰囲気圧倒されて緊張しました。しかし、寒河江社長や卒業生の先輩方がフォローを入れて下さり、滞りなくインタビューをすることができました。今回いただいたお話を忘れることなく、残りの大学生活を過ごしたいと思います。

キャリアセンター



様々な仕事の第一線で活躍する卒業生らを講師に招いて「自分の働き方を自分でつくる」方法を教えたり、「芸術を社会でどう活かすか」を例示するなど、本学で学んだあとの生き方を導き、支えています。企業様からの求人情報やご相談も随時お受けしておりますので、お気軽にお問い合わせください。

●東北芸術工科大学合同企業説明会
学生の企業理解、業界研究をより一層推進するために、合同企業説明会を開催いたします。多くの参加申し込みをお待ちしております。
開催日:平成28年5月21日(土)
時間:14時~17時30分
会場:東北芸術工科大学
申込方法:本学ホームページ内「企業採用担当の方へ」より、参加申込書をダウンロードいただき、3月31日までにメール添付(career@aga.tuad.ac.jp 件名に「合同企業説明会」と記入の上ご送付下さい)にてお申し込みいただきますようお願い申し上げます。申込多数の場合は抽選をさせていただきます。

【お問い合わせ】
東北芸術工科大学キャリアセンター
TEL:023-627-2194
FAX:023-627-2358
E-mail: career@aga.tuad.ac.jp

おむすびとは

「芸工大生って絵しか描かないのでは?」と、何を学んでいるのかなかなか理解していただく機会がありません。そこで企業と芸工大を結びつけ山形を一緒に作っていきたいという想いを込めて発刊されたのが、「おむすび」です。

後援会会員

- A/GC グラスプロダクト株式会社 / N/T/T ウェブページ株式会社
- 社東北営業本部 / T/O 株式会社 / 東北支社 / 株式会社ア・
- フアクトリー / 有限会社アートエック / 株式会社赤湯観光バス /
- 株式会社曙印刷 / 税理士法人あさひ会計 / 羽建建設株式会社
- うるしやまクレーン株式会社 / 株式会社エーアッシュ / 遠藤
- 商事株式会社 / 株式会社オーイン / 株式会社大風印刷 / 株式
- 会社大久保硝子店 / オビサン株式会社 / 株式会社カスカワス
- ポーツ / 株式会社上山温泉ホテルあづま屋 / 株式会社村屋本店
- 建設工業株式会社 / 株式会社建設テクノ / 株式会社彩画堂
- 株式会社蔵王サブライズ / 株式会社蔵王ミート / 酒井造園 / 株
- 式会社シベル / 株式会社ジョインセレー / 株式会社荘内銀
- 行 / 進和パル印刷株式会社 / 医療法人社団須田医院 / 株式
- 社須藤電機 / セコム株式会社山形統轄支社 / 株式会社セロン東
- 北 / 全国農業協同組合連合会 / 山形県本部 / 株式会社イマー
- シテイメディア / 定化成機器株式会社 / 株式会社田中工務店 /
- 田宮印刷株式会社 / 株式会社丹野こんにやく / 株式会社千歳
- 建設 / 千歳不動産株式会社 / 株式会社塚田会計事務所 / 株式
- 会社つたや / 株式会社テトラ / 株式会社天童木工 / 株式会社
- でん六 / 東栄コンクリート工業株式会社 / 東武トワーツ株
- 式会社山形支店 / 有限会社東北環境総合サービス / 東北電化工
- 業株式会社 / 東北バイオ株式会社 / トーエ工業株式会社
- 株式会社とみろ / 株式会社ヨレンタリース山形 / 株式
- 会社ナイガイ / 内外緑化株式会社 / 株式会社にしむら / 株式
- 会社旅館古窯 / 有限会社ネットワークの里 / 株式会社ハイスタッフ
- 株式会社羽田設計事務所 / 株式会社八文字屋 / 東日本電
- 信電話株式会社 / 山形支店 / 藤庄印刷株式会社 / 富士ロック
- ス株式会社 / 富士ロック北日本株式会社 / 布施弥七京栄店
- 株式会社ホテル月の池 / 株式会社本間利雄設計事務所 / 丸
- 善株式会社仙台支店 / ミクロン精密株式会社 / みずほ銀行山形
- 支店 / 株式会社南東北ポタ / メイク美創株式会社 / 有限会社
- 名月荘 / 株式会社メオス山形事業部 / 株式会社山形アド
- ベニロー / 山形ガス株式会社 / 株式会社山形環境正 / 株式
- 社山形銀行 / 山形空港ビル株式会社 / 株式会社山形ランドホ
- テル / 株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター / 山形
- 建設株式会社 / 山形県民共済生活協同組合 / 株式会社カキザ
- キ / 山形国際ホテル / 山形酸素株式会社 / 山形食品株式会社
- 株式会社山形新聞社 / 山形信用金庫 / 山形セックス株式会社
- 株式会社山形テレビ / 山形トヨタ自動車株式会社 / 山形農業
- 協同組合 / 山形パナソニック株式会社 / 株式会社山形ビニール商
- 株式会社山形形サビー / 株式会社山形放送株式会社 / 株式会社
- ヤマコ / 山形観光株式会社 / 株式会社山形新広告社 / 株式会社
- 山本組 / 悠湯の郷ゆき / 株式会社吉田段ボール / 恵聖画廊 /
- リコージャパン株式会社 / 東北営業本部山形支社 / リソネ株式
- 会社 / 両羽協和株式会社 / 菱機工業株式会社 / 仙台支店 / 有限
- 会社レンタルラザ / 渡辺包装株式会社